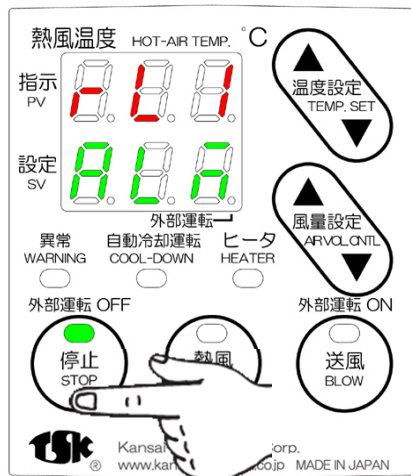


ロック解除

- 便利な機能の『温度警報モード変更』、『オートチューニング』をご使用になるためには、各パラメータを変更する前に、まず、パラメータのロックを解除してください。

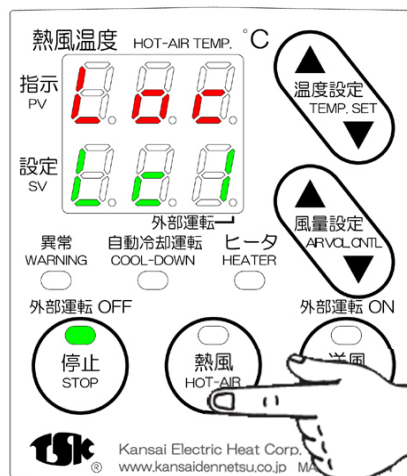
- ① 停止状態にて停止スイッチを約3秒間押し続けてください。

指示PV部に『RL1』、設定SV部に『ALM』が表示します。

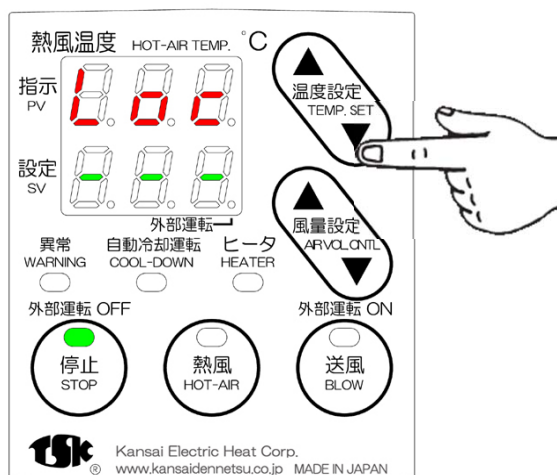


- ② 熱風スイッチを3回押してください。

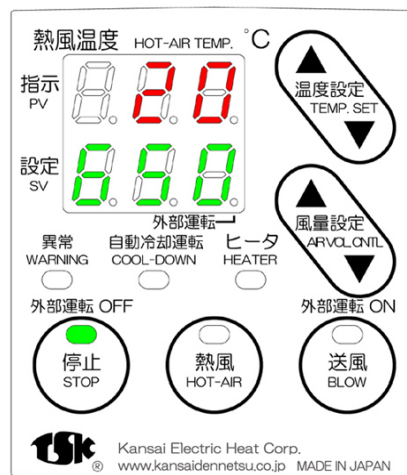
指示PV部に『LOC』、設定SV部に『LC1』が表示します。



- ③ 温度設定ダウンキーで設定SV部を『---』へ変更してください。



- ④ 変更後、熱風スイッチを1回押して通常停止状態の表示へ戻してください、これで、ロック解除完了です。



※出荷時のロックモードはLC1です。『---』でロック解除、『LC2』で温度設定、及びその他の設定のみロックとなります。温度設定を固定し、誤設定を防止したい場合には『LC2』へ変更し、ご使用いただく方法もあります。

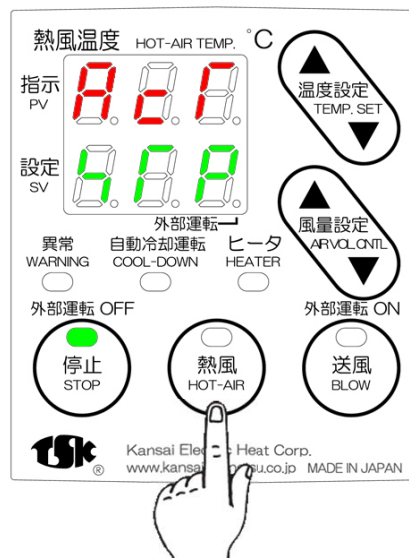
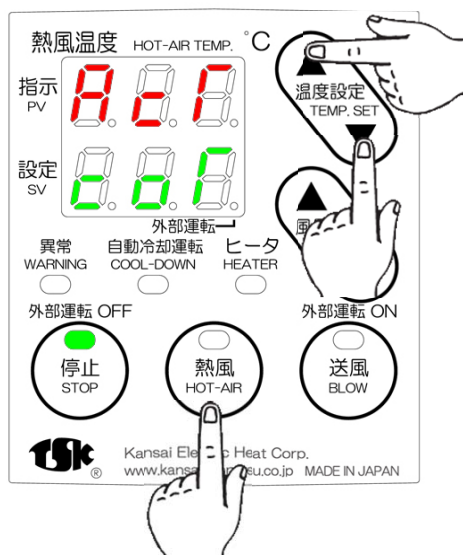
ロック解除後の再ロックは、上記と同操作にて指示PV部の『---』表示を『LC1』へ変更してください。

瞬停後の再始動の解除

- ポータブルドライヤは停電等の瞬停後、元電源の再投入により、自動的に瞬停前の運転を再開します。瞬停後の元電源再投入によって運転を再開したくない場合（運転停止状態にて保留）に設定を実施してください。

- ① ロックを解除し、停止状態にて熱風スイッチを押しながら、温度設定のアップダウンキーを同時に押し続けてください。
- ② 熱風温度アップキーで『coT』を『STP』に変更してから、モードスイッチを8回押して、元の停止状態の表示に戻してください。

熱風温度部に『AcT』、設定温度部『coT』が表示されます。



この設定により、停電等の瞬停後、元電源が再投入されても、ポータブルドライヤは自動的に運転は再開されず、停止状態となります。手動にて再運転を開始してください。